

## 2009 年度 事業および運営に関する報告の件

(2009 年 4 月 ~ 2010 年 3 月)

### [2009 年度の総括]

文責 : 代表 古賀桃子

#### [事業面]

※後段の「事業報告の詳細」参照

#### 1 ●事業展開において重視した点

ふくおかNPOセンターでは、2002 年の設立当初より、事業の2つの柱として、“コンサルティング”(草の根のNPOのサポート) および “プロモーション”(NPOの社会的な啓発) を掲げて活動を進めてきた。

それから7年を経た現在、福岡県内で、特定非営利活動法人として活動する団体は1,300 団体を上回り、依然、緩やかな増加傾向にある。しかしながら、福岡県を含む全国各地で、情報公開(事業報告書の提出等)の義務を怠っているところも多いようで、真に社会や地域に信頼されるセクターとなるには、未だ課題が多いともいえる。

他方、福祉・医療・環境・子育てなど、私たちの生活課題の深刻化・顕在化は進むばかりで、かつ、社会・経済・政治の状況も世界的に流動的な様相をきたしつつある。

そのような中、「何か地域のためにできれば」、「もっと安心して暮らせる社会づくりを」という思いやこころざし、問題意識を抱き始める市民(個人)も増えつつある印象である。このような時勢から、おそらく、NPOや地域活動などに関心を寄せる人たちは、今後も増えることが予測され、法人化している団体も含めたNPO関係者や一般市民が、NPOやボランティアの基本的理解を確かめたり、自らの活動のありようについての認識や検証を促すことは、やはり意義深いと考える。

かたや、多くの地方自治体は、ここ数年来、「協働」や「市民活動支援」といったアプローチを施策上に打ち出しており、その流れの中で、従来から行われてきたNPOへの資金的支援や市民活動支援拠点施設の整備に加え、協働の取り組みを誘発させるためのマッチングの仕組みづくり(提案公募型事業)に乗り出すところも出てきている。他方、行財政改革の文脈で捉える向きもみられ、「協働」をそのための一手段として位置付ける風潮が、行政内部において、益々強まらないかとも憂慮している。

一方、企業においても、CSR(企業の社会的責任)への関心が、福岡のような地方都市にある企業でも徐々に高まっており、その一環として、NPOへの支援や連携関係を模索する企業も出てきている。数年前までは専ら大都市に本社を置く大手企業の関心対象であったが、最近では、地場の大手や中小企業レベルでも、勉強会等を開く動きが出てきている。

このような個人・地域・社会の動向を傍目に、2009 年度についても、NPO・企業・行政等を対象とした力量形成のための研修やネットワークづくり、一般市民やNPO・企業・行政等のセクター毎の関係者を対象とした啓発、コーディネーションに取り組んだ次第である。

### 2 ●事業の主な実施手法

2009 年度は、自主事業として、月例イベント「5丁目カフェ うさぎ」や、企業からNPOに物品を橋渡しするサービス「つこーちゃん?」、協働やSR（組織の社会的責任）の最新の動向をキャッチしていただく趣旨である「[自治体×市民]協働対策ゼミ」・「組織のための社会的責任（SR）セミナー」を開催した。また、事務局として運営協力しながら参画している企業・行政関係者有志の自主勉強会「企業市民ネット九州（KIQ）」・「パートナーシップ研究会（ぱ～研）」を引き続き行った。

この他、行政からの受託事業として、県内各地での研修会「協働力向上セミナー」（福岡県と協働）、主に行政内部向けの協働の環境整備プロジェクト「佐賀市協働ステップアップ事業」（佐賀市と協働）、そして、NPO対象のIT活用推進事業「NPO・ICTどんどこいプロジェクト」の一環として、「ふくおか協働Web」の保守・運用面のサポートや、「ふくおか生涯学習ひろば」の開発から保守・運用面のサポートを継続実施した。（いずれも福岡県と協働）

また、企業（住友生命）からの協賛事業として、「子どものための児童館とNPOの協働事業（NPOどんどこプロジェクト）」を北九州市内の児童館を対象に行った。

併せて、「NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会」・「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（NNネット）」・「NPO法人会計基準策定プロジェクト」・「定額給付金基金～あなたのお金が未来を変える～」といった、全国的な運動やキャンペーンへの参画も進めた。

以上は、総じて、新たなメニューにチャレンジするよりも、従来の事業を、これまでに蓄積してきたノウハウやネットワークを生かしながら、より深化・充実させる方向で活動を進めてきた。

### 3 ●これまでになかった点

▼ここ数年来、他地域の組織からの、事業共催や運営協力等の依頼が増えているが、今年度は、「NPO・ICTどんどこいプロジェクト」のメンバーである橋本氏が代表取締役を務める「株式会社ヌーラボ」との協働によるプロジェクトの準備に着手した。（2010年度事業計画として）単発的なイベントではない、戦略性あるプロジェクトとして、地場企業との初の協働の取り組みとなる。

▼NPO・NGOからなる「社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（NNネット）」へ参画し、これを通じて、「安全・安心で持続可能な社会的責任に関する円卓会議」の代表協議者を担当していることで、SRに関する最新動向を、より多くの人たちと共有する勉強会を持つこともできた。（6月 NPO向け勉強会、11月 一般向け勉強会）

▼講師派遣事業において、行政職員対象の研修事業や、NPO支援組織・施設のスタッフ対象の研修事業の依頼が増え、年間のレギュラー科目として通年で複数回担当する案件に加えて、リピーターとして前年度に引き続き依頼を受けるケースが増えた。これが起因して、堅調な自主事業の収入増にもつながった。

### 4 ●反省点

2008年度の諸々の活動メニューの深化を、という基本姿勢で取り組んだ年ではあったものの、事業のボリュームが相応であるため、もろもろの取り組みについて、

綿密な記録化や、情報の整理等まで至らぬまま、追われるままに過ぎてしまった。

### [運営面]

#### 1 ●運営面において重視した点

設立当初より、人材および資金が慢性的に不安定であることが懸案であった。とりわけ、会費収入・寄附金収入・自主事業収入等の自主財源の充実による、運営体制の強化が課題であるため、特に会員募集および自主事業の充実を念頭に置いていた。会員については伸び悩み状態で、努力不足に他ならない。他方、講師派遣収入の増加が、財源拡充の一助となった。

#### 2 ●2009 年度の主な運営

##### ▼理事会

2009 年度より理事 6 名（うち、理事長 1 名・副理事長 1 名）、監事 1 名という体制にて運営。理事会を 2 回（1/7 第 16 回理事会、3/3 第 17 回理事会）開催した。その他、メーリングリストを日常的に活用し、役員専用 ML では、2009 年度中に 597 件のやりとりを行った。02 年の設立以来運用している役員（理事・監事）も含む応援団専用 ML 「えふえぬし」は、広報の折に使用している。

##### ▼事務局

06 年 11 月より吉富まゆみがプロジェクトスタッフとして週 3 回のパートタイムとして勤務していたが、07 年 6 月よりフルタイムの専従スタッフとなり、同年 12 月には事務局長に就任した。前年度より、常勤 2 名体制を実現することができており、“日々、古賀・吉富の 2 名が担っている”という当センターの活動像も、以前よりもよく知られている印象である。

他方、代表の古賀が下半期の 3 カ月間休暇に入ったため、事務局運営に支障が生じ、2010 年度に取り組むべき組織課題とさせていただきたい。

##### ▼ボランティア受け入れ

06 年度から、少しずつながら、ボランティアやインターンが活動する機会が増えてきた。また、従来から取り組んでいる「ぼらタイム」の他、福岡市 NPO・ボランティア交流センター（あすみん）がコーディネートしている「ボランティアインターンシップ」を通じて参加される方が複数おられ、風通しの良い組織づくりのための試みをしているところである。こうした正規のボランティア受け入れプログラムの他、空いた時間を活用した単発的な個人ボランティアが目につき、中には常連化されている方もおられる。各人にとって、市民活動の世界へのいざないともなり、また楽しいコミュニケーションの機会ともなるため、事務局としては喜ばしいことであった。

#### 3 ●これまでになかった点

##### ▼理事会

理事全員、他の NPO や企業等に従事する立場で、多忙を極めているところであるが、代表の古賀が下半期の 3 カ月間休暇に入ったこともあり、特に下半期には、メーリングリストのやりとりが相当量となった。このため、日ごろの事務局運営の「見える化」を進める端緒ともなった。

### ▼事務局

常勤である代表・古賀が事務局を不在にすることが多く、また下半期の3カ月間休暇に入ったため、「協働力向上セミナー」等において、吉富がキーとなって動いた。

### ▼来客

事務所を中央区薬院から中央区天神に移転して5年ほど経つが、天神の地の利も手伝ってか、県内・外からの来客が益々増えている。用件は、視察・打合せ・新規事業のプレゼン等、属性もNPOの他、企業・行政等様々である。設立当初から、多様なネットワークの中で、新たな方向性や具体的な活動を生み出している当団体としては、こうした来客の増加は喜ばしいことである。ブログ日記「NPO庵ノ嘶」における「お客様」コーナーも、度々更新するほどになっている。

### 4 ●反省点

今年度は設立以来初めて、赤字決算となった。例年の反省点でもあるが、会員拡大については、依然、努力不足の感が残り、特に昨年度はやや減少となっている。2009年度総会においても懸案とした、「すてきなNPOとの出会いプロジェクト」の強化および自助努力（会員募集手法や会員特典の見直し）が急務だ。また、古賀の休暇中に円滑な事業・組織運営に支障が生じたことから、理事会の開催頻度も、出来ればもう少し増やしたいところである。いずれにせよ、真に魅力的・効果的な自主事業を開発し、共感者を着実に増やしていくこと、そしてそれと両輪に、組織のガバナンスを強化する仕組み・体制整備が、2010年のキーかと考えている。

※2009年度は、前年度の活動の深化を図ることを基本的な方針としていたため、上記文章も、一部の加筆をしながらも、全般的に2008年度の記載内容を踏襲した内容とさせていただいた。

## [事業報告の詳細]

※「★」は2009年度中、新規に取り組んだもの。それ以外は継続事業。

### コンサルティング ～草の根活動を円滑かつ効果的に行うために～

#### ■「協働力向上セミナー」

(主催：福岡県NPO・ボランティアセンター、企画運営：当センター)

・福岡県NPO・ボランティアセンターの公募事業として実施。

従来と事業名は異なるが、福岡県のセミナー事業を、当センターが担当して4ヵ年目。

・10月～2010年2月の間、県内各地で実施。

・実施回数＝36回、参加者数＝600名 ※のべ人数

【通 年】

- 「NPOヨモヤマ相談。」
  - ・ 計4件対応（有料対応分／¥2,000 前年度比 +2件／NPOの組織づくり等）
  - ・ この他、個別相談に準ずる内容に関する対応状況 … 電話=50件（前年度比 -5件）  
メール=177件（前年度比 +55件）
  
- 「くさのねインフォメーションルーム（くさのねーい）」NPO向け会議室時間貸サービス
  - ・ 3回の利用（用途：イベントの会合）
  
- 「NPO行脚」
  - ・ 2009年6月～8月、計10団体を訪問しヒアリング
  
- 「NPO・ICTどんとこいプロジェクト」（<http://npo-ict.net/>）
  - ・ 福岡県「ふくおか協働Web」保守管理等（受託）
  - ・ 福岡県「ふくおか生涯学習ひろば」開発・保守管理等（受託）
  - ・ 講師派遣（「協働力向上セミナー」大牟田会場）

プロモーション ～社会的な啓発、提案、企画開発、広報～

- 「子どものための児童館とNPOとの協働プロジェクト」
  - （2007年5月～ 主催：日本NPOセンター、共催：（財）児童健全育成推進財団、協賛：（財）住友生命社会福祉事業団）
  - ・ 行政の縦割りを超えて地域の課題に主体的に取り組んできたNPOと、子どもの拠点として活動してきた児童館との連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気づき、学びあう環境を創出するためのプロジェクト。専用サイト <http://www.npo-dondoko.net/>
  - ・ 下記の5地域で実施中。
    - 新潟（新潟NPO協会）、金沢（いしかわ市民活動ネットワークセンター）、
    - 仙台（せんだい・みやぎNPOセンター）・京都（きょうとNPOセンター）、
    - 福岡（当センター）
  - ・ 風師児童館を核とした門司エリアの計4館、南小倉児童館を核とした小倉南エリアの計2館（1プログラムのみプラス一館）、小嶺児童館を核とした小嶺エリアの計2館（いずれも北九州市）にて、2009年9月～2010年3月の間実施。
  
- 「5丁目カフェ うさぎ」
  - （07/07～ 主催：当センター）
  - ・ 異分野の人たちが月に一回ゆったりと茶菓子をつまみながら語り交流できる場として開催。奇数月は当センターの事務所、偶数月はNPOの活動拠点で開催。
  - ・ 実施回数=10回、参加者数=29名 ※のべ人数
  
- 「組織の社会的責任（SR）を考えるセミナー2009」
  - （11/17 協力：社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク（NNネット））
  - ・ 福岡県内外のNPO・企業・行政から20名が参加

■ 「[自治体×市民] 協働対策ゼミ」

(11/17 共催：IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所])

- ・福岡県内のNPO・企業・行政から21名が参加

■ 「行政・NPO・企業とのパートナーシップ研修」

(主催：福岡県市町村職員研修所、運営協力：当センター)

- ・10月(入門編)および11月(実践編)の計2回実施。各回とも2日間プログラム。
- ・11月の実践編には、NPO関係者・企業関係者・県内自治体職員が一同に会する。

【通 年】

■ 「佐賀市協働ステップアップ事業に関するコーディネーション委託業務」

(07年5月～、3カ年目)

- ・佐賀市と当センターとの協働で、佐賀市の協働の実態を検証し、施策をブラッシュアップするためのプロジェクト。
- ・活動内容

【19年度実績】

実態調査(アンケート+ヒアリング)、トップ研修(三役含む)、協働に関するNPOおよび行政双方からの相談対応、「佐賀市協働情熱チーム」の編成+特訓(研修)、「佐賀市協働出会いフェスタ」の開催



【20年度実績】

実態調査(アンケート+ヒアリング)、08年10月より「協働相談会」(予約制の個別相談サービス)を開設、「佐賀市協働出会いフェスタ」の開催(計3回/事例発表と交流)、市職員対象の「佐賀市協働情熱チーム BootCamp!」(11月)およびNPO&市職員対象の「佐賀市の協働を進めるトレーニング研修 “協働劇場”」(09年1月)(協働推進に係る人材育成)



【21年度実績】

実態調査(アンケート+ヒアリング/47回=行政担当部署のべ42、市民活動団体5、財団法人1、企業1)、「協働相談会」(08年10月に開設した予約制の個別相談サービス/2009年度中は5件対応)、「佐賀市協働出会いフェスタ」の開催(計4回/事例発表とセクターを超えた交流の機会として/累計8回)、冊子「佐賀市協働力本」の作成・発行

■ 企業からの寄贈品のコーディネーション「つこーちゃん?」

- ・企業からここ数年来増えてきた、物品類のNPOへの寄贈依頼案件を、窓口を常設し、NPO・企業それぞれを対象に、一定の手続の下、コーディネート。
- ・専用サイト <http://www.npomono.info/>

その他（事業共催・講師派遣等）

【通 年】

■各セクターの有志による研究会活動への参画

- ・「企業市民ネット九州（通称：KIQ／きっく）」  
企業の社会貢献担当者ないし関心者の有志が主体、08年1月より始動  
月例ペースで勉強会を開催、県内の企業6社・11名が参加
- ・「パートナーシップ研究会（通称：ぱ〜研）」  
行政の市民活動支援および協働推進の担当者の有志が主体、08年1月より始動  
議会等繁忙期を除いた時期に開催、福岡および佐賀の12の基礎自治体・18名が参加

■全国ネットワーク関連

～通 年～

- ・「NPO／NGOに関する税・法人制度改革連絡会」への参画  
総会（5/28@東京、古賀が参加）  
NPO法施行11周年記念イベント（12/1@東京、吉富が参加）
- ・「社会的責任向上のためのNPO／NGOネットワーク」への参画  
円卓会議共有MTG（5/29・8/17・9/18・10/13@東京、古賀が参加）  
拡大幹事会および総会（6/4@東京、古賀が参加）  
「安全・安心で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議」  
（5/12・6/29・7/21@東京、総合戦略部会に古賀が委員参加）
- ・「NPO法人会計基準策定プロジェクト」への参画  
NPO法人会計基準協議会総会（3/31@東京、古賀が参加）  
NPO法人会計基準策定委員会（3/31・6/5@東京、古賀がアドバイザー参加）  
NPO法人会計基準策定プロジェクト キックオフイベント  
（3/31@東京、古賀が参加、主催：NPO法人会計基準協議会）

～期間限定キャンペーン～

- ・「定額給付金基金～あなたのお金が未来を変える～」への参画  
（配分額10,092円、事務局：特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム）

～その他（各種会合等）～

- ・日本NPOセンター 総会（5/28@東京、古賀が参加）
- ・NPO支援センター研修企画会議（5/29@東京（日本NPOC）、古賀が参加）
- ・NPOと企業との名刺交換会（5/29@東京、古賀が参加）
- ・チャリティプラットフォーム月例勉強会（8/5@東京、吉富が参加）
- ・NPO支援センター中堅スタッフ研修（11/30-12/1・2/5-6@東京、吉富が参加）
- ・「NPO政策いちば（仮）」拡大検討会（12/1@東京、吉富が参加）

■外部組織の事業への協力等

- ・シンポジウム「NGO-企業のパートナーシップ in 福岡！」  
主催：外務省  
実施：NGO 福岡ネットワーク (FUNN)、国際協力 NGO センター (JANIC)  
後援：福岡商工会議所、福岡県中小企業家同友会、経済産業省九州経済産業局、  
福岡県、福岡市、特定非営利活動法人 ふくおか NPO センター
- ・日本 NPO センター NPO 法人データベース「NPO ヒロバ」  
福岡県内の特定非営利活動法人の新規認証団体・所轄庁変更団体・解散団体の  
情報データ収集・一覧化について協力

■講演・講座等 \* 2009.4 月～2010.3 月実施分／原則古賀桃子で担当

- 福岡県市町村職員研修所 一般職員二部研修 講師 (3 日間×年間 8 回)  
[分権時代の自治体のあり方、政策能力の向上]
- 福岡県職員研修所・福岡県市町村職員研修所 合同研修  
NPO・企業・行政パートナーシップ研修 講師 [入門編、実践編]
- Panasonic NPO サポートファンド 組織強化研修ワークショップ 講師 [組織運営]
- 愛媛県社会福祉協議会 民生委員対象の研修会 講師 [会議の進め方]
- 福岡県 NPO・ボランティアセンター 「企画力&プレゼン力 ピカピカ講座」 講師
- とくしま県民活動プラザ 「NPO 自立支援塾」 講師
- 大分県 建設技術センター 中堅技術職職員  
ワークショップ ファシリテーター研修 講師
- 福岡県 NPO・ボランティアセンター 「CSR ガッツリ研修」 講師
- TOTO 株式会社 TOTO 水環境基金 第一回審査会 講師,  
第二回審査会 コメンテータ
- 文部科学省 平成 21 年度社会教育主事講習 講師 [NPO 概論]
- 北九州市 生涯学習ボランティア講座 講師
- 古賀市 市民共働課 「アフター 5 大学」 講演講師
- 石川県 NPO 活動支援センター 「NPO だるま落としセミナー in 金沢」 講師 [協働]
- 金沢市 新任課長補佐級 職員研修 講師 [協働]
- 北九州市社会福祉協議会社会福祉ボランティア大学校 講演会 [企業の CSR、社会貢献活動]
- 岡山県 備中県民局 講演会 講師 [協働]
- 第 18 回 全国ボランティアフェスティバルえひめ 講師 [会議道]
- 那覇市社会福祉協議会 「児童館×NPO 講座」 講師
- 那覇市 NPO 活動支援センター 「なはセンの NPO マネジメント講座」 講師
- 山口市教育委員会 山口県西部地区公民館職員研修会 講演会 講師
- 島根県自治研修所 新規採用職員研修 講師 [協働]
- 岡山県 備中県民局 研修ワークショップ 講師 [協働]
- 福岡県市町村職員研修所 政策課題研修 (四王寺塾) 中間発表会 コメンテータ
- TOTO 株式会社 ステークホルダーダイアログ コーディネーター (大阪会場)
- 久留米大学 平成 21 年度久留米大学経済学部公開講義
- 山口県 「地域で信頼される企業・NPO であり続けるために」 講演会 講師  
※計 2 回のうち、1 回を黒岩理事が担当
- 芦屋町社会福祉協議会 ボランティア連絡協議会 講演講師
- 津山市 (岡山県) 協働推進員をはじめとする職員研修ワークショップ 講師
- 別府市 まちづくり活動に関する研修会 講師 [地域コミュニケーション能力の向上]
- 福岡県市町村職員研修所 政策課題研修 研究発表会 コメンテータ
- 柳川市 職員研修 講師 [協働] ※古賀弥生監事が担当
- 山口県 萩市 職員研修 講師 [協働] ※黒岩理事が担当



児童健全育成推進財団 みんなで子育て研修会 in 福岡 講師 ※黒岩理事が担当  
大分県消費生活・男女共同参画プラザ 研修 講師 [協働] ※黒岩理事が担当  
久留米市 提案公募型協働モデル事業報告会 コメンテータ ※古賀弥生監事が担当  
ふるさと島根定住財団 NPOマネジメント講座 講師 [魅せる事業報告書]  
この他、下半期は福岡県内にて「協働力向上セミナー」の計 17 コマの講師を担当。

### ■執筆等／2009 年度中、古賀桃子で担当

九州労働金庫 発行 広報誌「夢ろうきん」 連載コラム ”教えて！NPO”  
公益財団法人公益法人協会 発行 月刊誌「公益法人」2009 年 7 月号  
巻頭言「NPO 的「社会的責任 (SR)」考」

### ■IT による情報発信関連の取り組み状況

#### ①ホームページ [NPO 庵]

- ・ 56,631 (10/05/27 現在、一日あたり平均 20)
- ・ 事務局日記ブログ「NPO 庵ノ嘶」でも日々の活動を発信中  
(05 年 11 月～、[http://blog.livedoor.jp/npo\\_an/](http://blog.livedoor.jp/npo_an/))

#### ②メルマガ [NPO 庵だより]

- ・ 2009 年度中に計 9 号を配信 (10/03/31 現在 vol.113、12 月～2 月中は休止)
- ・ 配信登録者数 2188 名 (10/05/27 現在、前年比 +374 名)

#### ③情報提供用 ML [古今東西 NPO 情報]

- ・ 04 年 10 月より始動、2009 年度中に計 43 通を配信 (10/03/31 現在)
- ・ 配信登録者数 236 名 (10/05/27 現在、前年比 +10 名)
- ・ NPO・自治体・企業などの、社会貢献分野にまつわる全国各地の最新トピックを随時配信
- ・ 専用ブログ「古今東西 NPO 情報」でも、メール配信と同時に発信中  
(05 年 12 月～、[http://blog.livedoor.jp/npo\\_news/](http://blog.livedoor.jp/npo_news/))

### ■問合せ等への対応状況 ※1 ページ目の相談業務 および 下記のマスメディアの対応件数を除く。

- ①電話 計 656 件 (09/04/01～10/03/31、前年比 -130 件)
- ②メール 計 45 件 (09/04/01～10/03/31、前年比 -105 件)
- ③来訪等 計 146 件 (09/04/01～10/03/31、前年比 + 84 件)
- 合計 847 件 (前年比 -151 件)

### ■メディア対応状況

#### ①取材関係

- ・ 新聞社より随時 (西日本・朝日・読売・毎日各部局)
- ・ 電話取材、来訪 計 4 件 (09/04/01～10/03/31、前年度比 -76 件)

#### ②記事掲載等

- ・ 新聞 (イベント案内記事・コメント等、適宜)

■事務局関連

ニューズレター「みみたぶ」月刊（07年8月～／2010年1月～3月の3回分休止）  
月例ボランティア参加プログラム「ぼらタイム」  
「雑草CUPボウリング大会」開催（事務局を担当、第5回=09/07/31）

【参考】

委員・役員等（代表・古賀桃子担当分）

・NPO関係

特定非営利活動法人MYP 理事  
特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか 理事  
特定非営利活動法人NPO博多まちづくり 理事  
アートサポートふくおか 監事  
福岡ライフセービングクラブ 監査役  
NPOさが 監事

・行政関係

H.17年度～ 福岡市「コミュニティビジネスアドバイザー」  
H.20年度～ 福岡県「福岡県生涯学習審議会」委員  
H.20年度～ 佐賀市「市民活動プラザ運営委員会」委員  
H.20年度 鳥栖市「鳥栖市市民活動支援補助金」懇話会委員  
H.21年度～ 筑紫野市「市民自治基本条例審議会」委員  
H.21年度～ 春日市「春日市男女共同参画審議会」委員  
H.21年度～ 福岡県「福岡県青年の翼実行委員会」委員  
H.21年度～ 内閣府「安心・安全で持続可能な未来に向けた社会的責任に関する円卓会議」総合戦略部会委員  
（「社会的責任向上のためのNPO／NGOネットワーク」代表協  
議者として／平成22年5月「社会的責任に関する円卓会議」  
に改名）

・その他

文部科学省「社会教育主事講習」講師（2002～、「NPOの法と組織」担当）  
全労済 環境活動助成 西日本地区審査員（2006～）